

項目	説明	
試料・情報の	研究課題名	乳がん患者の薬剤誘発間質性肺炎の原因解明
利用目的 及び	研究対象者	乳がんと診断された患者さんのうち、2017年11月から2027年3月の間に神奈川県立がんセンターで投薬治療を受けられた方
利用方法	研究目的	乳がんでは、他がん種に比べ薬剤治療によってがんを制御できる確率が高いです。しかしながら、薬剤誘発間質性肺炎によって、投薬を中止せざるを得ないケースが生じています。このことから本研究では、薬剤誘発間質性肺炎になりやすい遺伝的素因を探索し、薬剤誘発間質性肺炎の発症予測マーカーの確立を目的とします。
	研究方法	2017年11月から2027年3月の間に神奈川県立がんセンターで投薬治療を受けられた患者さんの内、書面で研究協力に同意して頂いた方で、投薬治療を受けた患者さんを対象とします。 研究用に頂いている血液から取り出した DNA を用いて、薬剤誘発間質性肺炎を発症する患者さんと発症しない患者さんで DNA の違いを比較する研究を実施します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西暦 2023 年 7 月 24 日 ~ 西暦 2027 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[X]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[X]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X]性別、 []既往歴、[]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [X]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[]看護記録 []その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター 研究責任者	所属・氏名 臨床研究所がん生物学部・星野 大輔
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	ライフテクノロジーズジャパン株式会社・阿部 誠 (DNA 解析を委託します)
	その他の機関	※東北大学東北メディカル・メガバンク機構 ゲノムプラットフォーム連携センター・木下 賢吾 (DNA 解析結果の詳細な解析を実施します)
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・臨床研究所・星野 大輔：045-520-2222 利用停止のお申し出は 2023 年 10 月 31 日までをお願いいたします	

※ 2026 年 1 月 14 日改訂